

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 2年 6月 10日

鹿児島県知事 三反園 訓 殿

報告者

住 所 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 939 番地

氏 名 屋久島電工株式会社 屋久島事業所

取締役所長 日高 英智

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0997-42-0111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、平成 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	屋久島電工株式会社 屋久島事業所
事業場の所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 939 番地
事業の種類	大分類:製造業 小分類:炭化けい素製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値(別表の通り)

項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

（日本工業規格 A列4番）

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書内訳書 (廃棄物の種類が2つ以上ある場合この表を使用してください。)

①	排出量	廃プラスチック	木くず	ゴムくず	汚泥OY スラッジ	廃油	スレート	乾電池	蛍光灯 水銀灯	繊維くず	廃フロン	ばいじん	数字(t)		
													汚泥	鉱さい	合計
①	排出量	20	52	6	168	41	1	0.1	0.2	11	19	125	963	51	1,457
②	自ら直接再生利用した量												201	42	243
③	自ら直接埋立処分した量														0
④	自ら中間処理した量														0
⑤	④のうち熱回収を行った量(内訳)														0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量														0
⑦	④-⑥自ら中間処理により減量した量														0
⑧	自ら中間処理後再生利用した量														0
⑨	自ら中間処理後、自ら埋立処分した量														0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	20	52	6	168	41	1	0.1	0.2	11	19	125	762	9	1,214
⑪	⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量	19	51	5				0.1	0.2	11			490		576
⑫	⑩のうち、再生利用業者への処理委託量	1	1	1	168	41	1				19	125	272	9	637
⑬	⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量														0
⑭	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への委託量														0
参考1	⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳)														0
参考2	⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳)														0
参考3	⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳)											125	272	9	406

別紙

数字(t)	
項目	実施値
①排出量	1,214
②+⑧自ら再生利用を行った量	243
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,214
⑪優良認定処理業者への処理委託量	576
⑫再生処理業者への処理委託量	637
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	0

自動計算 データーの場合
合入力不要

※ガラコン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラコンで記入してください)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

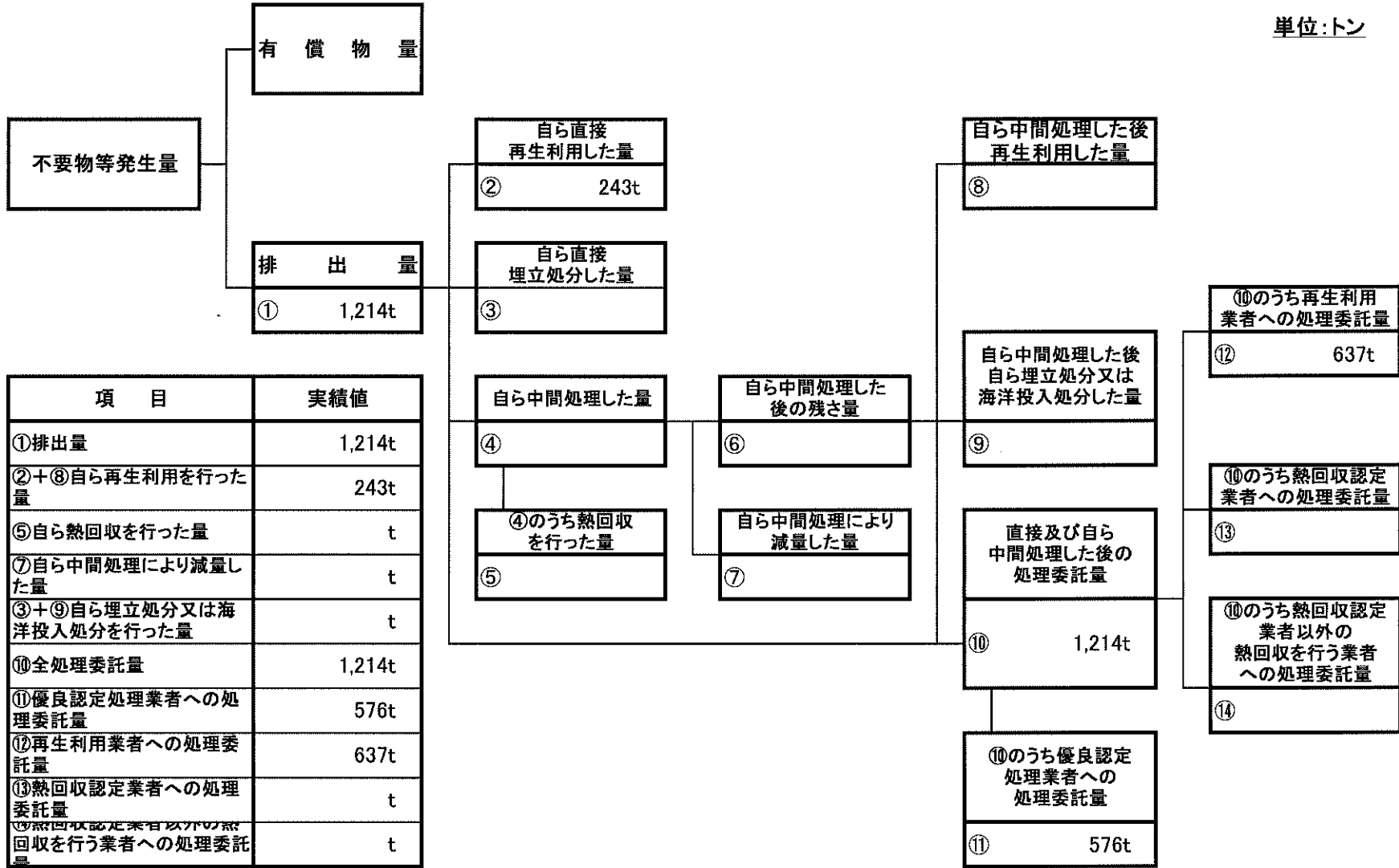
◆参考1~3は、どのような業者に委託されているかを聞くものです。(⑩処理業者への委託量=参考1+参考2+参考3)

◆miは、トンに換算し記入してください (換算係数は、ホームページ中の「換算係数」を参考にしてください。)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック、木くず、ゴムくず、廃油、スレート、汚泥、鉦さい、煤塵、乾電池、蛍光灯水銀灯、廃フロン、繊維くず等)

単位: トン



項目	実績値
①排出量	1,214t
②+⑧自ら再生利用を行った量	243t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1,214t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	576t
⑫再生利用業者への処理委託量	637t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t